

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

長襦袢の繰り直し

さくらきもの学院5周年記念 着付け教室受講生募集中



年齢を
美に
変える！
老けない
着つけ術
お太鼓の達人



長襦袢の数は何枚お持ちでしょうか。どなたも着物に合わせて何種類かは持っているはずですが、長襦袢の管理として中でも着ることの無くなった振袖の長襦袢はどうされていますか？長襦袢は必ず着物についているのでたぶん一緒にあるはずですが手入れが済み、多少汚れていなければ後に振袖を着る方の為に一緒しておくのが良いと思います。ただし襦袢だけが残されている場合は是非、再利用されればと考えます。

振袖の襦袢はそう頻繁に着られていないので生地そのものはあまり痛んでいないはずですが、ただ年数が経ち汗ジミや多少の色やけはしているかもしれません。

これからの和とくポイント

長襦袢について



振袖の襦袢は大抵淡いピンク系統のぼかしなどが多いものです。中には絞りのものもありますが・・・地紋はおめでたい大きな柄だったりします。もう派手かしらと感じる方もいらっしゃいます。でも全く視点を変えれば大いに役立ちます。大きな地紋でも思い切って濃く、渋い色に染められたらどうでしょう。地味な色の紬や織りの着物、小紋のなどに合わせて、例えば柿朱、あらい朱、ひき茶、からし、ワイン色等々に染めてみると、そんな色の襦袢が袖から見えるのはとても素敵でしょう。個性ある色の襦袢を着てお洒落を楽しんでみて下さい。平凡なピンクや水色の襦袢よりずっと面白いと思いませんか？

若い頃の長襦袢があれば、ぜひ利用してみてください。少々黄ばんだシミも分からなくなります。留め袖や喪服の長襦袢は白と決まっていますが長い間に黄変したり裾の汚れも目立ち全体が古びたようになってきます。

式服は他人に着せてもらう機会が多いので汚れが少し恥ずかしいような気がします。しかし元々白の長襦袢ですから染め変えるにはどんな色にでもなるはずですが。

好きな色にして他の着物の時に使う事もできます。薄い色から濃い色、または全体をぼかし染めにしてみても素敵です。

そして新しく長襦袢を創るときは、どんな着物に合わせたら良いでしょうか。ご提案として小紋か訪問着、そして式服用の長襦袢の新調に合わせて考えるのが良いと思います。

なぜなら訪問着には薄い地色で品の良いおとなしい長襦袢が無難ですし、式服用も白ですから新しいものが気持ちよいでしょう。特に薄目の色は着物の表地にひびかないので安心です。

長襦袢は下着ですからある程度は数を持っていると便利で、いつも同じ長襦袢を使えば汚れも激しく裾も切れて痛んでしまいます。次々と上手に手持ちの長襦袢を繰り直ししながら数を増やしていけば、より長持ちするでしょう。

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

🌸 9月の催事・イベント 🌸

◎こだわりの会・・・1日(土)～3日(月)

◎前撮り撮影会・・・9日(日)

◎知っとこ講座・・・16日(日) 17日(月)

両日10時～.14時～

◎山形屋スーツ展・・・21日(金) 22日(土)

🌸 カルチャー 🌸

◎ポーセラーツ教室・・・20日(木)

季節に合わせた器



※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

🌸 さくらきもの学院 🌸

🌸 9月30日(日)5周年記念パーティ
秋期受講生募集

ご紹介者には「帯締めor帯揚げ」プレゼント!

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

🌸 レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン: 初等科6回

・1dayレッスン: 500円/回

◎blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>

あーがー



By: お藤